

製品名: CD6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08426**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	73kDa

抗原情報

遺伝子名	CD6
別名	CD6; T-cell differentiation antigen CD6; T12; TP120; CD6
遺伝子 ID	923.0
SwissProt ID	P30203
免疫原	抗血清はヒト CD6 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 361-410

背景

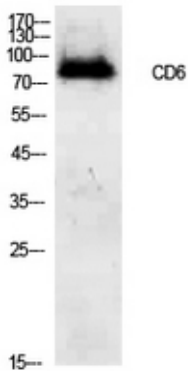
この遺伝子は、Tリンパ球および他の免疫細胞の外膜に存在するタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、3つのスカベンジャー受容体システインリッチ（SRCR）ドメインと、活性化白血球細胞接着分子の結合部位を含んでいます。この遺伝

子産物は T 細胞活性化の持続に重要です。この遺伝子は、多発性硬化症の感受性と関連している可能性があります (PMID: 19525953、21849685)。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2011 年 12 月]、機能: 細胞接着に関与。CD166 に結合します。、PTM:T 細胞が活性化されると、Ser および Thr 残基が過剰リン酸化され、Tyr 残基がリン酸化されます。、PTM:鎖内ジスルフィド結合が含まれます。、類似性:3 つの SRCR ドメインが含まれます。、組織特異性:胸腺細胞、成熟 T 細胞、B-1 細胞として知られる B 細胞のサブセット、および脳内の一部の細胞によって発現されます。、

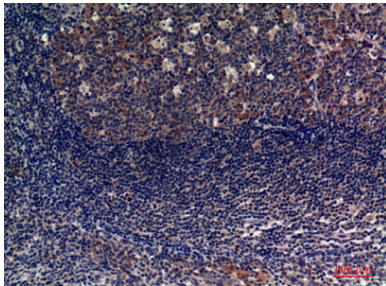
研究分野

細胞接着分子 (CAM)

画像データ



CD6 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された